

ロゼシアター開館30周年記念

第18回シヨパンコンクール優勝ピアニスト  
ブルース・リウ

パーヴォ・ヤルヴィ指揮  
チューリッヒ  
トーンハレ管弦楽団  
with ブルース・リウ

指揮者  
パーヴォ・ヤルヴィ

Program

ベートーヴェン  
「献堂式」序曲

ショパン  
ピアノ協奏曲第1番

ベートーヴェン  
交響曲第5番「運命」

※内容は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

©Yanzhang

©Gaetan Bally

©Gaetan Bally

2023  
10/20 金

【開場】18:30 【開演】19:00

富士市文化会館ロゼシアター 大ホール

(静岡県富士市蓼原町1750番地)

入場料

(全席指定・税込)

S席 14,000円  
A席 12,000円  
学生 5,000円

発売日

2023年6月21日(水)10:00～WEB  
\*窓口販売は翌6月22日(木)10:00～

※学生は25歳以下対象 ※未就学児入場不可

取扱い

◇ロゼシアターホームページ  
<https://rose-theatre.jp>  
◇ロゼシアター 窓口(営業時間9:00～20:00)

◇ローソンチケット(Lコード/43674) <https://l-tike.com/>  
◇チケットぴあ(Pコード/243-884) <https://t.pia.jp/>

※ロゼシアターでお求めの際には「ロゼフレンドシップ」への登録が必要です。  
※車椅子席は、ロゼシアターへお問合せください。 ※終演後、臨時バスを運行します。 ロゼシアター→新富士駅(220円)→富士駅(270円)

30th Anniversary  
ROSE THEATRE

【お問合せ】ロゼシアター ☎0545-60-2500(9:00～22:00)

【主催】公益財団法人富士市文化振興財団 【後援】静岡朝日テレビ/K-MIX

ロゼシアター駐車場の収容台数には限りがあります。周辺店舗等への無断駐車は大変迷惑となりますのでご注意ください。



©Gaetan Bally

## パーヴォ・ヤルヴィ [音楽監督]

*Paavo Järvi, Music Director*

2019年シーズンより、チューリヒ・トーンハレ管弦楽団の音楽監督・首席指揮者に就任。幅広いレパートリー、エネルギッシュな演奏で、多くのファンを魅了しており、同オーケストラとのレコーディングも精力的に行っている。

祖国エストニアでは、エストニアの若手音楽家とヨーロッパの一流オーケストラのメンバーから成るエストニア・フェスティヴァル管弦楽団を立ち上げ、芸術的にも大きな成功を収め、海外ツアーも行っている。

2004年より芸術監督を務めているドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団でも、ヨーロッパはもちろん、日本・中国・韓国・米国のツアーを行ったほか、ザルツブルク音楽祭、BBCプロムス、ニューヨークの音楽祭モーストリー・モーツァルト・フェスティバルなどに出演を重ねている。

2015年からは、NHK交響楽団首席指揮者を務め、2020年2月から3月にかけて、2度目となるヨーロッパ・ツアーを成功させた。



©Gaetan Bally

## チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団

*Tonhalle-Orchester Zürich*

チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団は1868年に創設され、特に1895年に世界でもベストともいわれる音響効果を誇る新ホール(Tonhalle)が誕生してからはスイスのドイツ語文化圏の音楽界で重要な役割を果たしてきた。

## ブルース・リウ [ピアノ]

*Bruce Liu, Piano*

ブルース・リウは2021年の第18回国際ショパン・ピアノコンクールで優勝し世界の注目を集めた。

コンクールでの成功後直ちに世界ツアーを開始し、パリのシャンゼリゼ劇場、ウィーンコンツェルトハウス、ブリュッセルのボザール、東京オペラシティ、サラ・サンパウロ、フィルハーモニア管弦楽団との共演でロイヤル・フェスティバル・ホールに出演。またワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団とアメリカツアーを行い、ルクセンブルク・フィルハーモニー管弦楽団、ポーランド国立放送交響楽団、NHK交響楽団、ソウル・フィルハーモニー管弦楽団とも共演。

ドイツ・グラモフォン専属アーティスト。ショパン・コンクールのライブ録音を収録したファースト・アルバムはフレデリック賞を受賞、グラモフォン誌のクリティックス・チョイスとエディターズ・チョイスのほか、2021年のベスト・クラシックアルバムに選出されるなど国際的に高い評価を受けている。



©Yanzhang

ハンス・ロスバウト、ルドルフ・ケンペ、ゲルト・アルブレヒト、クリストフ・エッセンバッハなどの主要な首席指揮者たちは楽団に決定的な影響を及ぼし、また錚々たる客演指揮者たち(古くはベーム、フルトベングラー、クレンペラー、クーベリック、シューリヒト、ワルターなど、最近ではブリュッヘン、デュトワ、ハイティンク、ヤノフスキ、ヤンソンス、ロジェストヴェンスキーなど)も楽団を大いに発展させた。

毎シーズン100を超えるコンサートで約50のプログラムの演奏を行っており、これまで演奏会を行った都市は100都市を超える。

2019年10月よりパーヴォ・ヤルヴィがオーケストラ音楽監督・首席指揮者を務めており、その卓越した演奏で国際的に高く評価されている。レコーディングも精力的に行っており、現在までに40枚以上のCDをリリースしている。パーヴォとはチャイコフスキープロジェクトが進行中であり、好評を博した交響曲第5番に続き、チャイコフスキー交響曲全集第2弾が2021年4月にリリースされた。